

試合番号 : 101		試合会場 : 日本製鉄堺体育館				観客数 : 300				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:19		試合時間 : 02:19		主審 : 高橋 宏明		副審 : 中西 幸治		
堺ブレイザーズ		通算	1勝	0敗	VC長野トライデンツ		通算	0勝	1敗	
		ポイント:	3				ポイント:	0		
監督コメント	まずは勝利を手に出たことを素直に喜びたいです。相手チームのVC長野は、とても良いディフェンスをしていたと思います。我々堺ブレイザーズは、サーブ、パス、ブロックはとて良かったので、明日は更にオフェンスなど攻撃面を向上させていきたいです。明日はこうした状況の中、また足元の悪い中、足を運んで頂きありがとうございます。明日も応援、よろしくお願いします。	26	第1セット	24	3	1	いつもVC長野へのご声援ありがとうございます。また、コロナという状況の中でリーグが開催できた事に感謝いたします。開幕戦ということで前半は動きが硬く、良いパフォーマンスが出せなかったが、後半はしっかりパフォーマンスが出せ内容も良かったと思います。その中でもっとサーブとディグを修正し明日のゲームに挑みたいです。本日もたくさんの方の応援ありがとうございました。	監督コメント		
		25	第2セット	19						
		23	第3セット	25						
		25	第4セット	20						
			第5セット							
要約レポート	待ちに待った2020-21のシーズン開幕戦。勝利を手にしたのは、堺ブレイザーズだった。序盤こそ苦戦を強いられた堺であったが、リベロ山本が要所で好レシーブを披露し、徐々にリズムをつかむ。接戦の第1セットを奪うと、一気に流れは堺へと傾いた。2セットを連取し、このまま堺のペースで試合が進むかと思われたが、第3セット、VC長野トライデンツも粘りを見せた。セッター河東が、相手ブロックに的を絞らせない巧みなトワークで、戸壽、池田のサイド攻撃、森崎のクイックと多彩な攻撃を見せ、このセットを奪い返した。しかし、地元ファンの熱い応援に後押しされた堺は、第4セット息を吹き返す。途中出場の千々木が見事期待に応える活躍を見せ、初戦白星と好スタートを切った。									
試合番号 : 102		試合会場 : パナソニックアリーナ				観客数 : 702				
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:55		試合時間 : 01:55		主審 : 澤 達大		副審 : 千代延 靖夫		
パナソニックパンサーズ		通算	1勝	0敗	FC東京		通算	0勝	1敗	
		ポイント:	3				ポイント:	0		
監督コメント	FC東京のディフェンスが強くセッターのトス回しも速く、厳しい場面が多くありました。私にとっての就任初試合でしっかり勝てたことは、チームにとっても良かったです。出場した選手全員が力を発揮し、勝利につなげることができました。フランスよりもファンの皆様の応援がすごくて、環境も素晴らしいです。本日も応援ありがとうございます。	25	第1セット	22	3	1	監督コメント			
		25	第2セット	19						
		25	第3セット	27						
		25	第4セット	23						
			第5セット							
要約レポート	今シーズン開幕をホームで迎えたパナソニックパンサーズとFC東京の一戦。第1セット、序盤からパナソニックが4連続得点でリードすると、そのまま安定した試合運びで終盤を迎える。終盤、FC東京が反撃を見せるもリードを守ったパナソニックがセットを先取る。第2セット、終盤まで一進一退の攻防が続く。パナソニックはクビアックの2連続サービスエースで一気に流れを引き寄せ、清水、久原の技のあるスパイクで得点を重ね、連取する。第3セット、パナソニックはセッター深澤を中心とした多彩な攻撃で得点を重ねていく。後のないFC東京は長友、迫田のスパイクやミドルブロッカーの武藤、栗山のクイックを織り交ぜた攻撃で応戦する。終盤、デュースにまでもつれ込む接戦となるが、切り返しからの粘りを見せたFC東京がセットを奪い返す。第4セットも両者譲らぬ展開となるもFC東京がリードしながら試合が進む。終盤、交代が入った児玉のブロックでパナソニックが逆転に成功すると、そのまま流れを掴み初戦を白星で飾った。									
試合番号 : 103		試合会場 : スカイアリーナ (第一総合運動場市民体育館)				観客数 : 530				
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:24		試合時間 : 02:24		主審 : 中山 健		副審 : 岡田 崇		
サントリーサンバーズ		通算	1勝	0敗	ウルブドッグス名古屋		通算	0勝	1敗	
		ポイント:	3				ポイント:	0		
監督コメント	最初にこのような状況のなか、Vリーグの開幕を迎えられたことに、選手・スタッフはもちろん、様々な関係者の方に感謝したいと思います。試合内容に関しては、全てのセットが競る展開となりましたが、勝因となったのは全てのスタートの入り方が良かったことだと思います。ホームゲームの後押しもあり、良い集中力を保つていました。明日も同チームのWD名古屋さんになるので、もう一度しっかり準備をして臨みたいと思います。本日は応援誠にありがとうございました。	25	第1セット	19	3	1	監督コメント			
		32	第2セット	34						
		25	第3セット	21						
		25	第4セット	21						
			第5セット							
要約レポート	2020-21 V. LEAGUE DIVISION1 MENの開幕戦は、昨シーズン3位のサントリーサンバーズと同7位のウルブドッグス名古屋が顔を合わせた。第1セット、サントリーは栗山のスパイク、センター塩田のブロックが冴えたり、このセットを先取る。第2セット、流れに乗ったサントリーは柳田の強烈なスパイクで序盤から主導権を握るも、WD名古屋は途中交代が入ったオボジットのクレクが高さを活かしたスパイクや強烈なサーブで得点を量産し、デュースに持ち込む。シーソーゲームが続く中、WD名古屋の高梨、白岩の鋭いスパイクが光り、流れをつかんだWD名古屋がこのセットを取り返す。第3セット、サントリーはセッター大宅が多彩なトワークで、スパイク一陣を操り、WD名古屋に隙を見せることなく、このセットを取り、勝利に手をかける。第4セット、サントリーは柳田、藤中の高速バックアタックを中心とした攻めを見せ、点差を広げる。後がなくなったWD名古屋のセッター前田はセンター近のクイックやクレクにボールを集め、巻き返しをはかるが、サントリーは終盤、栗山が相手ブロッカーをはじき飛ばすバックアタックを次々と決め、このセットを連取し、地元ファンの応援を背に開幕戦を白星で飾った。									
試合番号 : 104		試合会場 : ジェイテクトアリーナ奈良 (奈良県立橿原公園第1体育館)				観客数 : 715				
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:54		試合時間 : 01:54		主審 : 山本 和良		副審 : 沢田 元		
ジェイテクトSTINGS		通算	1勝	0敗	東レアローズ		通算	0勝	1敗	
		ポイント:	3				ポイント:	0		
監督コメント	開幕戦ということで最初は硬さが見られましたが、第2セット以降は自分たちのペースを展開することができました。また明日に向けて準備を、いいプレーをお見せできるよう臨んで参ります。引き続き応援のほど、よろしくお願いいたします。	14	第1セット	25	3	1	監督コメント			
		25	第2セット	22						
		26	第3セット	24						
		25	第4セット	19						
			第5セット							
要約レポート	2020-21 V. LEAGUE DIVISION1 MENの開幕戦。昨シーズンの覇者ジェイテクトSTINGSに向けて東レアローズを迎えるホームゲーム。第1セット、ジェイテクトはプレーに硬さが見られ、サーブレシーブの乱れから東にリードを許す。東は、星野や富田の硬軟組み合わせた攻撃やコースを狙ったサーブで終始リードしてそのままセットを先取った。第2セットは一転拮抗した試合展開。ジェイテクトは藤中のブロックから徐々にリードを広げる。東は藤野の巧みなトワークで対抗するが、ジェイテクトは西田にボールを集め、最後も西田が強烈なアタックでセットを取り返した。第3セット、ジェイテクトは第2セットの勢いそのまま、西田の強烈なサーブやバックアタックで得点を重ねリードを広げる。中盤、東は李の速攻、小澤のブロックを利用したアタックが決まり同点に追いつく。しかし、ジェイテクトは終盤、交代が入った浅野がチームのリズムを呼び戻しデュースまでもつれ込むが、最後はジェイテクトが粘り切りセットを連取。第4セット、中盤までお互いの持ち味を出し、互角の展開で試合が進む。セカンドテクニカルタイムアウト後に東が連続得点し粘りをみせたが、ジェイテクトは西田のアタックや福山のサーブで相手レシーブを乱し、最後は、東の小澤のアタックに対し伏見のブロックが決まりジェイテクトが開幕戦を勝利した。									

※本票の著作権は、一般社団法人日本バレーボールリーグ機構に帰属します。

試合番号 : 105		試合会場 : 昭和電工武道スポーツセンター (大分県立武道スポーツセンター)				観客数 : 1,012						
開始時間 : 14:00		終了時間 : 15:27		試合時間 : 01:27		主審 : 山本 晋五	副審 : 平田 敬基					
大分三好ヴァイセアドラー		通算	0 勝	1 敗	13	第1セット	25	JTサンダーズ広島		通算	1 勝	0 敗
監督コメント		ポイント :	0	0	20	第2セット	25	監督コメント		ポイント :	3	3
今シーズンVリーグ開幕戦を戦えることに感謝します。試合の入りは硬さもあり、サイドアウトをなかなか取れず、主導権を握られましたが、後半は自分達の流れをつかみ、連続得点でもり返す場面もありましたが、相手を上回ることは出来ず敗戦となりました。明日もしっかり準備して挑みたいと思います。本日はご声援ありがとうございました。		0	19	第3セット	25	3	監督コメント	Vリーグが無事に開幕できたことに感謝しております。本日の試合は、選手がよい状況でプレーでき、練習してきたことがコートで発揮できたと思います。新人の西が地元大分で開幕スタメンデビューし、勝利に貢献できたことはチームにとっても収穫だと思います。コロナ渦の中、多くの皆様にご声援いただきありがとうございました。明日もチーム一丸となって戦います。				
要約レポート												
開幕戦をホームで迎え勝利をつかみたい大分三好ヴァイセアドラーと、JTサンダーズ広島との一戦。第1セット、長いラリーを制したJT広島が序盤から大きくリードする。JT広島は小野寺、エドガーなどの効果的なブロックにより勢いに乗りこのセットを取る。第2セット、序盤から両チームは互いに譲らず一進一退の攻防をみせる。大分三好は、髙松、古賀のスパイクで粘りをみせるが、JT広島は陳のスパイクなどで確実に得点を重ね、セットを連取する。第3セット、JT広島は、エドガーや陳らを中心に攻撃陣が多彩な攻撃を見せ、大分三好に一度もリードを許さずこのセットを取った。JT広島は危なげない試合運びで今シーズン開幕戦に勝利した。												

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :
通算		- 勝	- 敗	第1セット	通算	- 勝	- 敗
ポイント :		-	-	第2セット	ポイント :		-
監督コメント				第3セット	監督コメント		
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :
通算		- 勝	- 敗	第1セット	通算	- 勝	- 敗
ポイント :		-	-	第2セット	ポイント :		-
監督コメント				第3セット	監督コメント		
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							

試合番号 :		試合会場 :				観客数 :	
開始時間 :		終了時間 :		試合時間 :		主審 :	副審 :
通算		- 勝	- 敗	第1セット	通算	- 勝	- 敗
ポイント :		-	-	第2セット	ポイント :		-
監督コメント				第3セット	監督コメント		
				第4セット			
				第5セット			
要約レポート							